■特別支援教育だより

い き い き

ＶＯＬ．３０
平成２２年９月３０日
いわき市総合教育センター

■心理検査について（その２）

今回は、心理検査におけるプロフィール分析や指導・支援に生かすための方策についてお知らせします。

プロフィール分析の手順

（１）知能を下位項目に分け、下位項目毎に評価できる構成にすることによって、知能に関わる諸能力間の個人内差を右の図のように**プロフィールで表示**します。

（２）個人内の得意領域、不得意領域を把握します。

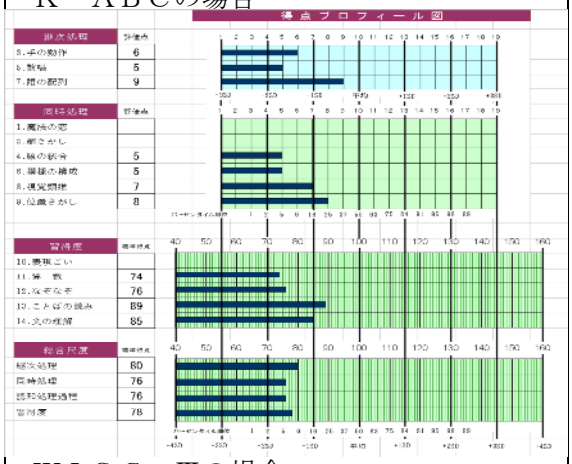
（３）プロフィール分析をし、レポートを作成して検査結果の解釈や指導への生かし方を考えます。

① **児童生徒の普段の生活・学習状況からの聞き取りや検査の際の行動の様子**などを組合せて解釈を進めます。

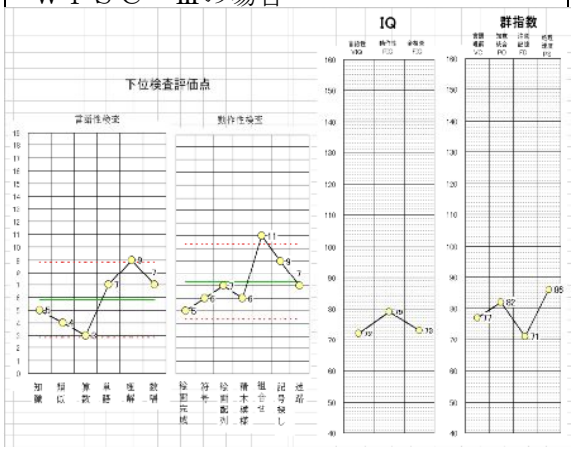
② 検査者のこれまでの経験や一般的に**示されている特性に合わせた指導法と結びつけて**仮説を作成します。
・一人一人の発達課題・特性を理解して、**指導目標・内容・手だて**を設定します。
・基本的には、その子の**強い力を活用**し、指導方法等を見つけていきます。

③ 子どもの実態と照らし合わせ、**検査結果のそぐわない箇所は全て仮説から削除**します。

Ｋ－ＡＢＣの場合



ＷＩＳＣ－Ⅲの場合



以上のような検査結果の解釈を行うことをプロフィール分析と呼びます。指導への生かし方を踏まえた仮説は、検査者の主観による手作業となります。

（４）個に応じた支援に生かすための計画を設定します。
・**個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、指導・支援にあたる**ようにします。

※ 詳しくは、直接お電話でお問い合わせください。また、スクールカウンセラーにご相談されるのも一方法です。